



[最終回]

居宅介護支援事業所

訪問先 ● 居宅介護支援事業所 ひまわり

「居宅介護支援事業所」について教えていただきました

レポーター/みほとちゃん



居宅介護支援事業所 ひまわり
所長 飯島早苗さん

利用者を中心においた 在宅チームの要



今回は、医療法人
光仁会春日部厚生
クリニックの居宅

介護支援事業所 ひまわりにお
邪魔しました。まず、「居宅
介護支援事業所」について、
所長の飯島早苗さんに教えて

いただきます。居宅介護支援
事業所では、どのようなサー
ビスが提供されるのですか？



飯島 ● 居宅介護支
援事業所は、要介
護認定を受けた人

が自宅で生活できるように、
適切に介護や医療のサービス
につなげる事業所です。

事業所には、ケアマネ
ジャーと呼ばれる介護支援専

門員がいます。ケアマネ
ジャーは、利用者や家族に「こ
れからどのような生活を送り
たいか」について聞き取りを
します。そのうえで、介護が
必要になる前の生活に少しで
も近づけるように目標を立
て、利用するサービスの種類
や頻度を決めた利用計画書
(ケアプラン)を作成します。

——ケアマネジャーは利用者
と定期的に会うのですか？

飯島 ● 月1回以上の訪問が決
められてますが、回数に上限
はないので、利用者の状態に
合わせた頻度で訪問していま
す。

利用し始めのころは、本人
も家族も不安が大きいので、
できるだけ訪問して不安の払

拭を図るようにしています。

——どのように具体的なサー
ビスにつなげているのですよ
うか？

飯島 ● ケアプランを立てると
きから必要なサービスを利用
者に提示し、サービスの担当
者との相談を行ったうえで利
用者に紹介します。

私たちは利用者を第一に考
えて、医師や看護師、薬剤師、
栄養士、リハビリテーション
専門職、介護職、福祉用具専
門員など、多職種種の「在宅チ
ーム」で支援します。

そのなかでケアマネジャー
は専門職同士や、専門職と利
用者や家族の連絡調整役も
担っているのです、わかりづら
い専門用語を言い換えるなど

介護保険制度とは……

高齢化が進むなかで増えてくる、介護が必要になった高齢者を社会全
体で支えるためのものです。

65歳以上で要支援・要介護の認定を受けていれば、介護保険サービス
を受給できます。利用者の所得に応じて、介護保険サービスの費用の
7～9割を負担してくれます。

(40～64歳でも条件を満たせば利用できます)

要介護度とは……

寝たきりや認知症などで常時介護を必要とする状態を「要介護状態」、
家事や身支度などの日常生活に支援が必要で、特に介護予防サービス
が効果的な状態を「要支援状態」と言います。

この程度を要介護認定で判断します。要介護度の区分は要支援1・2、
要介護1～5です。



目標に向かって、
チームで支えてく
れる点が心強いで
す。ケアマネジャーの存在は
大きいですね。

の配慮もしています。

DATA

医療法人 光仁会
春日部厚生クリニック
居宅介護支援事業所 ひまわり

〒344-0043
埼玉県春日部市
下蛭田125-1
(春日部厚生クリニック内)
TEL.048-761-8176

撮影＝羽切利夫



1994年生まれ。2016年度ミス鎌倉。慶應義塾大学看護医療学部卒業、看護師資格を持つ。2018年にアイドルグループを卒業。現在はアイドル活動に加えて、ラジオパーソナリティやMC業を中心にソロ活動をしている。仏像・お寺の魅力を広げるために精力的に発信を続けている。
SNSアカウント：@mihotoke_chan



24時間365日、どの利用者からの電話にも対応ができるようにしているそうです。心強いですね！



本人や家族から、訪問していなかった期間の状態や希望を聞きながら、ケアプランを見直します



■職員インタビュー

——ケアマネジャーの間中宏明さんに、お話を聞いてみます。ケアマネジャーになったきっかけを教えてください。



間中 ● もともと、別法人の特別養護老人ホームに介護職として勤務していました。

施設だけではなく、自宅にいる利用者に対しても何かできる

■利用者インタビュー



——利用者の渡邊榮子さんに、お話を聞いてみます。

居宅介護支援事業所ひまわりを利用したきっかけを教えてください。



渡邊 ● 2018年の秋に大きな病気をしました。手術

をして、歩くこともつらくなり、それまでの生活とは大きく変化してしまいました。そんなときに、ひまわりを利用したところ、いろいろな専門職たちにつないでくれたので、

ることがあるのではないかと
思いケアマネジャーの資格を取りました。利用者にとっての最良のケアは何か、ということに常に意識して働いています。



——印象的な利用者や家族とのエピソードはありますか？

間中 ● ご本人とご主人の希望

今では歩けるようになり、孫たちとも旅行に行けるようになったのです。

——ひまわりを利用してよかった点は？

渡邊 ● 多くのことができなかった

居宅介護支援事業所 ひまわりってどんなところ？

飯島早苗さん

居宅介護支援事業所ひまわり 所長



母体が医療法人なので、医療面の対応もできます

介護保険以外の医療面についても柔軟にサービスを提案し、自宅での生活をサポートします。

地域資源を有効に活用して、一人ひとりに合った事業所を紹介します
研修会や勉強会を通じて、地域の事業所やサービスの情報を集めています。利用者の意向や、頻度などを考慮して最適な事業所を紹介します。

24時間365日、対応します*

夜間でも休日でも電話がつながるようにしています。担当の利用者でなくても対応できるように、職員間で情報の共有も密にしています。

知っておいてください！

月1回の訪問を基本にしながら頻度は状況によって変わります。たとえば、利用し始めや、ケアプランの変更時には頻度が高まることもあります。安定しているときには月1回になる場合もあります。



さまざまな専門職をつなぐのもケアマネジャーの役割。看護師をはじめ、いろいろな職種の人とコミュニケーションを取っていました

はとても大きかったです。



ご家族の励ましと、ひまわりへの信頼を、ていねいにお話ししてくれた渡邊さん。ありがとうございました。